

こうりゅう通信 vol.3

H29.11 こども政策課 時見・吉年



今回の教育保育研究会のテーマは・・・

「資質・能力の3つの視点」から

子どもの主体的・意欲的な活動を読み取る
～子どもの姿・遊びを「肯定的なまなざし」で見る力、語る力を！～



11/6(月)に、柏原西幼稚園(5歳児クラス)で研究保育(教育保育研究会)がありました。

柏原西幼稚園の5歳児は、11/11の秋のごっこ遊び(保育参観)に向けて、お客さんに「忍者の修行体験」をしてもらえる「忍者がっこう」の取り組みの真っただ中。

この日は、4歳児がお客さんになり、忍者がっこうへやってきました。5歳児の忍者たちは、修行の仕方を教えたり、一緒に修行を楽しんだり、大忙し&大張り切りでした。研究保育に来ていた先生も飛び入りのお客さんになって、一緒に楽しみながら、子どもたちのいろんな姿を見て、勉強をしました。



3つの視点 (資質・能力の3つの柱を捉える視点)

☆3つの視点で読み取りや意味づけをした今日の子どもの姿の一部を紹介します。

※資質・能力については、裏面に資料添付



～忍者の修行の内容～

- ☆**忍者しゅりけん** 的に向かって手裏剣を5個投げる。的にに入った数が点数。
- ☆**飛び石の術** 床に置いた7個のフープ全部を早く渡っていく。
- ☆**フープぐりの術** 忍者4人とお客さん3～4人が交互に手を繋いで輪になる。手を離さないように、順にフープをくぐっていく。10数える間に1周できたら修行は成功!
- ☆**秘密の森** 葉っぱをめくって、隠れた忍者の絵を3つ見つければ修行成功!
- ☆**忍者じゃんけん** 3つある忍者のじゃんけんポーズで、忍者と勝負! 忍者と違うポーズを出せば勝ち! もう一回勝負できる。

飛び石の術で見本を見せて説明する場面

「早くやるって、こんなぐらいやで」「やってみるから、みててな!」と、張り切って見本を見せる姿。
やっぱり5歳児は動きが早いなあ～。



忍法 飛び石の術!!

こうす3て"ござる!"

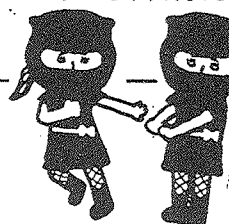
役割交替時に人数が減った場面

「どっちにする? すず? タンバリン?」「手裏剣は私が渡すわ」と、自分たちでうまく役割分担して進めている姿。
友達同士で上手に工夫したり、伝えたりしているね。

年少さんに優しく関わっている姿

「フープぐりの術」で、お客さんが間に入らず、忍者同士で手を繋いでいる場面

「なんかおかしい...」「そこ、お客さん入らなあかん!」と気づいた。
ルールを分かっているから、自分たちで気づいたね。



なんかおかしい...

忍者のとなりは... お客さん!!

視点2
感じる・気づく、
できるようになる

視点3
考える、試す、
工夫する、表現する

視点1
遊びの原動力、心情・意欲、
子どもの思い

秘密の森で、忍者を見つけられず困っているお客さんがいた場面

迷った顔をしながらも、ちょっとヒントを出してあげていたのは、今日の活動の中で出てきた新しい姿だね。

お客さんがいっぱい来て、待ってもらわないといけない場面

「どうやって、並んでもらおう...」と友だちと一緒に考える姿。



どうしよう...

フープぐりの術が成功した場面

「やったー!」「成功した～!」と、喜んでいる姿。次のお客さんにも「教えるのを頑張ろう」って思うね。

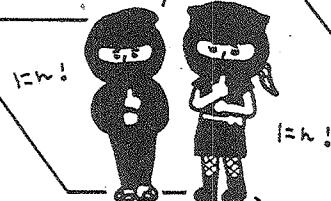


自分たちの役割が分かっている。

忍者の服や、アイテムをつけることで、よりうれしい! 楽しい!

ルールの説明を、自信を持って言う。

お客さんが来るうれしさとかわくわく感



にん!

にん!

忍者じゃんけんの説明をする場面

「ルールを守ってくれないよ。どうしたらいいのかなあ...」となんとかしようと考えている姿。
この姿は、視点1の、意欲や新しい目標にも繋がっていくね。

同じ姿を見たけど、先生のように捉えたら、ちゃんと育ちが見えてくるね

友達同士で、こんな伝え合いができたんだ～

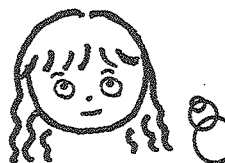
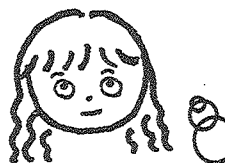
子どもの姿を3つの視点を意識して見ると、その時の活動の意味や子どものどんなところが育っているのか、ねらいのどの部分が薄かったのか、を具体的に捉えることができるね!

保育を振り返ると、いろいろ見えてくるよね～

子どもの姿を見る力や読み取る力が大切だね

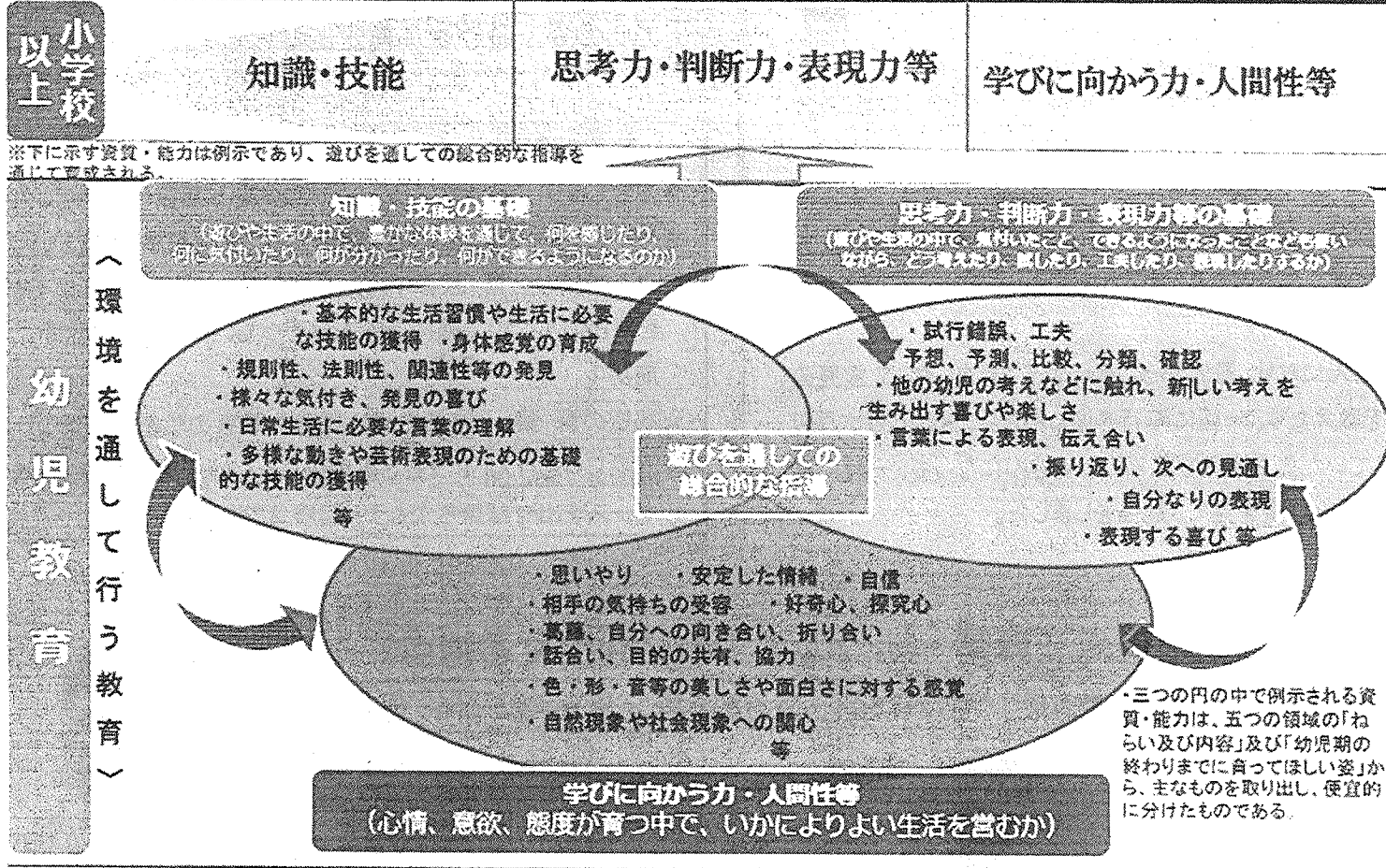
子どもを同じ視点ばかりで見ていることに気づけたわ...

次の保育の視点やねらい、活動内容を考える時に活かしていけるわ♡



幼児教育において育みたい資質・能力の整理

資料1



3つの視点（資質・能力の3つの柱を捉える視点）	
視点1 遊びの原動力、 心情・意欲、 子どもの思い	<p>○遊びの原動力が現れている場面や様子 ～どんなことが遊びの原動力になっているのでしょうか？～</p> <p>○遊んでいる中で心情が現れている場面や様子 ～どんなことを楽しい、面白い、不思議だと感じていたのでしょうか？ どんな気持ち？～</p> <p>○遊んでいる中で意欲や思いが現れている場面や様子 ～どんな思いや、こうしたいという意欲などが生まれていたのでしょうか？～</p> <p>○新たな芽生えが現れている場面や様子 ～今日新たに、芽生えた気持ちや楽しさや思い、めあて（目標）はどんなことでしょうか？～</p>
視点2 感じる・気づく、 できるようになる	<p>○遊んでいる中で、どんなことを感じたり、気づいたりしている場面や様子がありましたか？ ～感性や気づき～</p> <p>○遊んでいる中で、身体面、スキル面でこんなことはすでにできているなあと感じた場面や様子がありましたか？ ～どんなことができていましたか？～</p> <p>○今日、新たに芽生えた気づきや、新たにできるようになってきたと感じた場面や様子はどのようなことでしたか？ ～新たな芽生え～</p>
視点3 考える、試す、 工夫する、 表現する	<p>○遊んでいる中で、どんなことをイメージしながら、表現していたのでしょうか？</p> <p>○遊んでいる中で、どんなことを考えて、試したり、工夫したり、試行錯誤したり、改善しようとしていたのでしょうか？</p> <p>○どんな風に感じたこと、気づいたことや知っていることを表現していた？</p> <p>○今日、どのようなことを考えたり、試したり、工夫したり、表現する中で新たに芽生えてきたのでしょうか？ ～新たな芽生え～</p>

H29.11.6 教育保育研究会 瀧川先生資料より

《ポイント》

- * 「資質・能力」の3つの視点「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力・人間性等」が、互いに絡み合いながら子どもの遊びや活動の中に現れるように、これらのねらいを意識して、保育の展開を考えていく。
- * 「子どもの遊びや活動の姿」「保育のプロセス（展開過程）」を、3つの視点を使って「現在進行形」で捉える
→ 「資質・能力」は、子どもの行動を具体的に捉える視点
- * 「現在進行形」として具体的な行動を捉えたら、保育の内容や方法等の指導改善に活かしていく

H29.10.26 柏原市幼保合同研修会 瀧川先生資料より